

本資料は、第2回研究会(2015年6月24日)において、磯野生茂・アジア経済研究所新領域研究センター・研究員が使用したものである。

中国(上海)自由貿易試験区の経済効果と 周辺諸国への影響

経済地理シミュレーション・モデル分析

磯野 生茂

(いその いくも)

IDE-JETRO

Institute of Developing Economies, JETRO

中国(上海)自由貿易試験区

2013年9月29日に設立

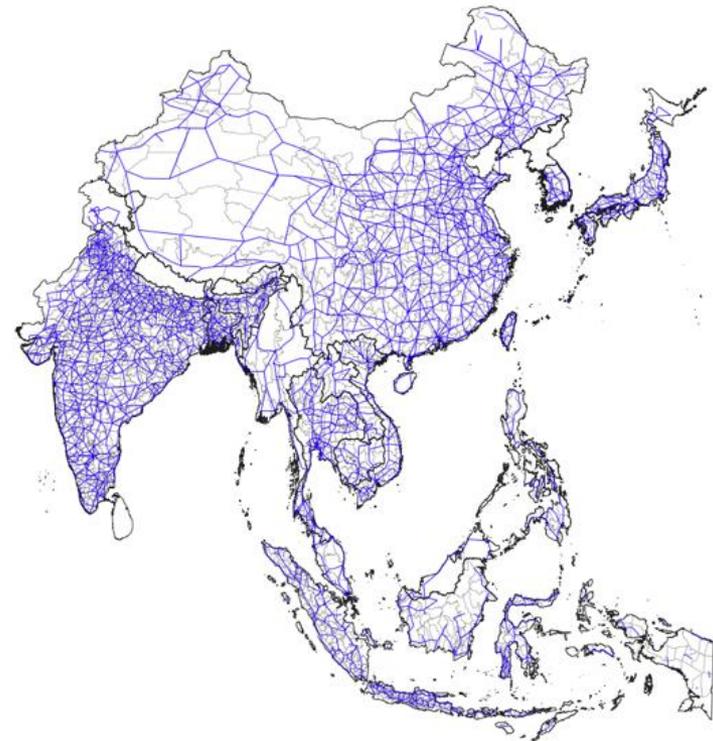
	2013年	2014年	2015年～
地理的 拡大	上海市内 (28.78km ²)	上海市内 (120.72km ²)	3区域(広東、天津、福建)に自由貿易試験区を新設
自由化	ネガティブリスト項目の削減		
	190 / 1,096	139 / 1,096	100以下 / 1,096
制度革新	①認可制から登録制へ、それに伴う行政改革を実施 ②自貿区を海外との双方向の投資拠点へと発展させる		
	<ul style="list-style-type: none"> ・シングルウィンドウ導入 ・市場監視制度と監査の導入 ・情報共有と法の執行の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の年次報告書と問題ある企業名の公表 ・社会信用体系の改善 ・専門家監督制度の改善 	

経済地理シミュレーション・モデル (IDE-GSM)

IDE-GSMは空間経済学に基づくシミュレーション・モデル

- 人口と産業の長期的予測
- ソフト・ハードインフラの経済効果分析(県レベル)

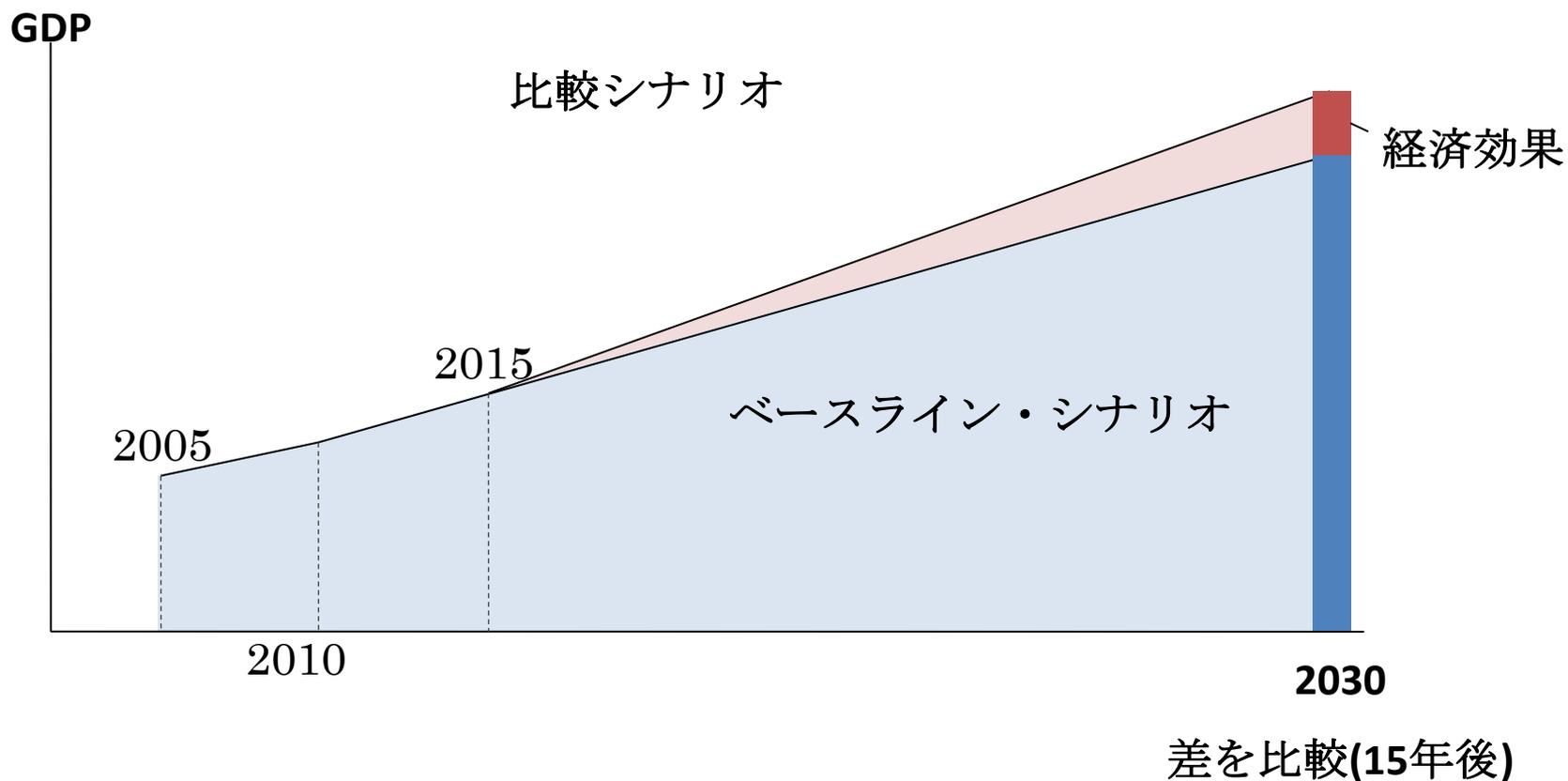
IDE-GSMの道路ネットワーク



IDE-GSMで何を分析する？

- 経済効果分析
 - ハードインフラ(道路、港、空港、鉄道)
 - 貿易円滑化、規制緩和、FTA
 - 経済特区
 - これらハード・ソフトインフラ整備の組み合わせ
- 今回の分析では、中国(上海)自由貿易試験区を旧来型の工業団地建設ではなく、**制度改革(自由化)**とみなす。

経済効果の算出



現実的シナリオ

特定の市・省がサービス貿易障壁と物品貿易の非関税障壁を徐々に低下させる

現実的 (Most Likely) シナリオ

上海市全体

2014-2025年にかけて、香港との差の半分だけサービスと製造業の障壁を削減

広東と天津

2016-2025年にかけて、香港との差の半分だけサービスと製造業の障壁を削減

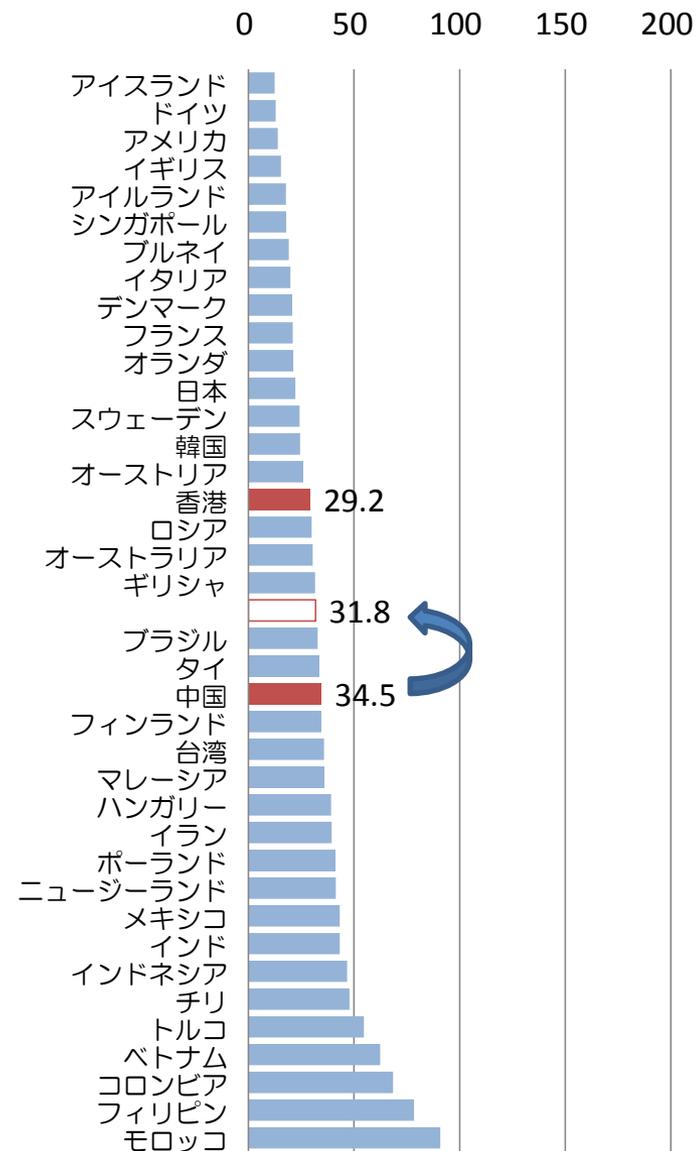
揚子江経済ベルト

2021-2025年にかけて、香港との差の半分だけサービスと製造業の障壁を削減

その他地域 変化なし

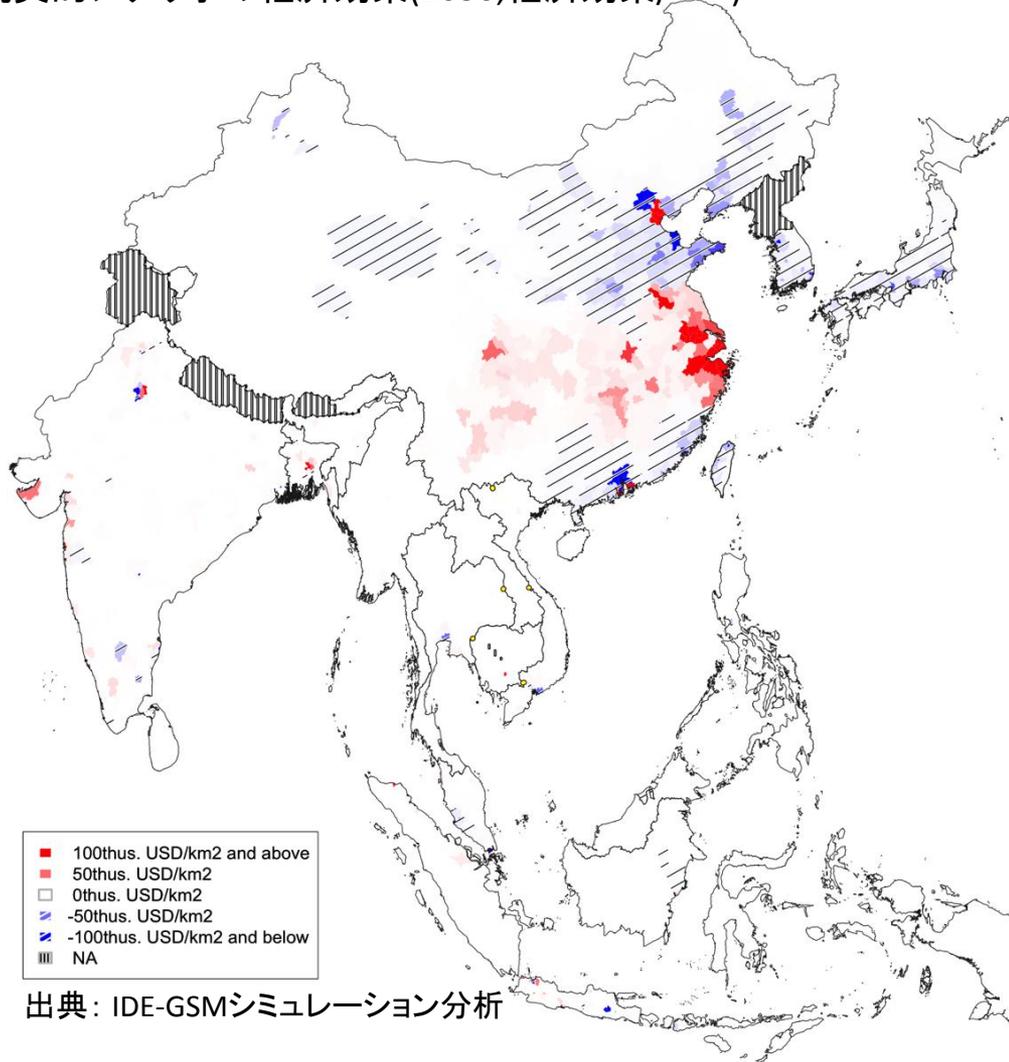
*Chongqing, Jiangsu, Hubei, Zhejiang, Sichuan, Yunnan, Guizhou, Hunan, Jiangxi, and Anhui Provinces.

サービス貿易の障壁



域内総生産への影響

現実的シナリオの経済効果(2030,経済効果/km²)



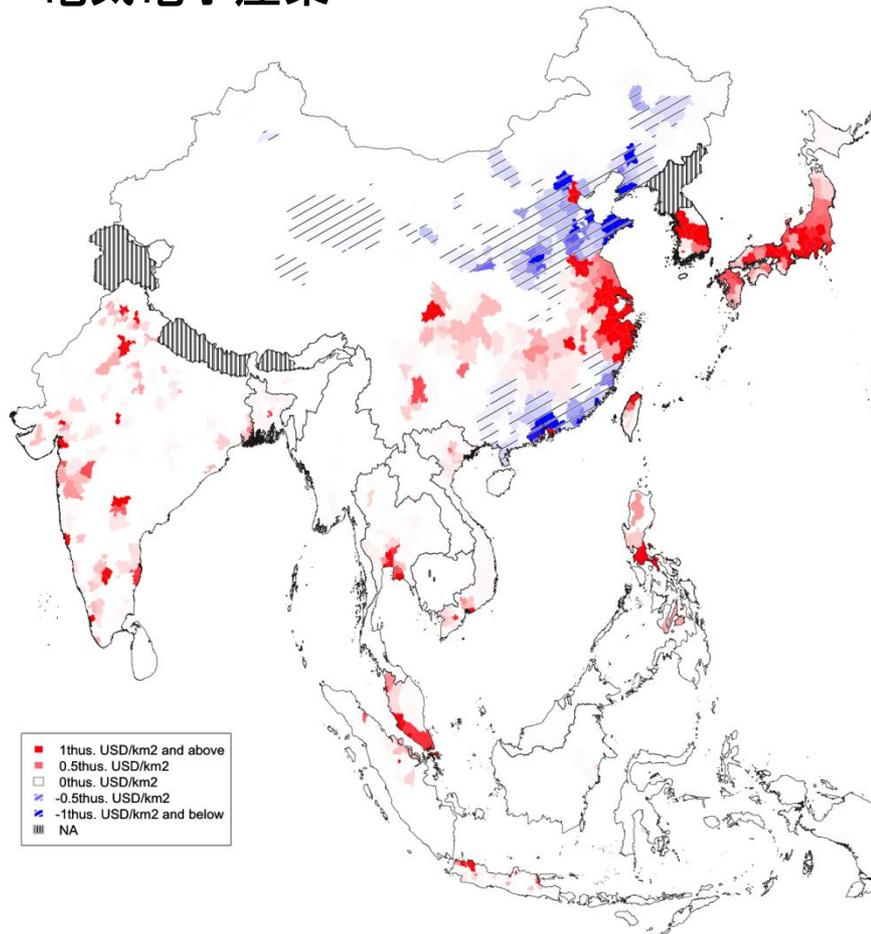
出典：IDE-GSMシミュレーション分析

赤い地域：プラスの効果。短期的には価格が下がり、競争激化。消費者や企業は安い価格でサービスを享受できるようになり、その地域に多くの消費者や企業が流入する。

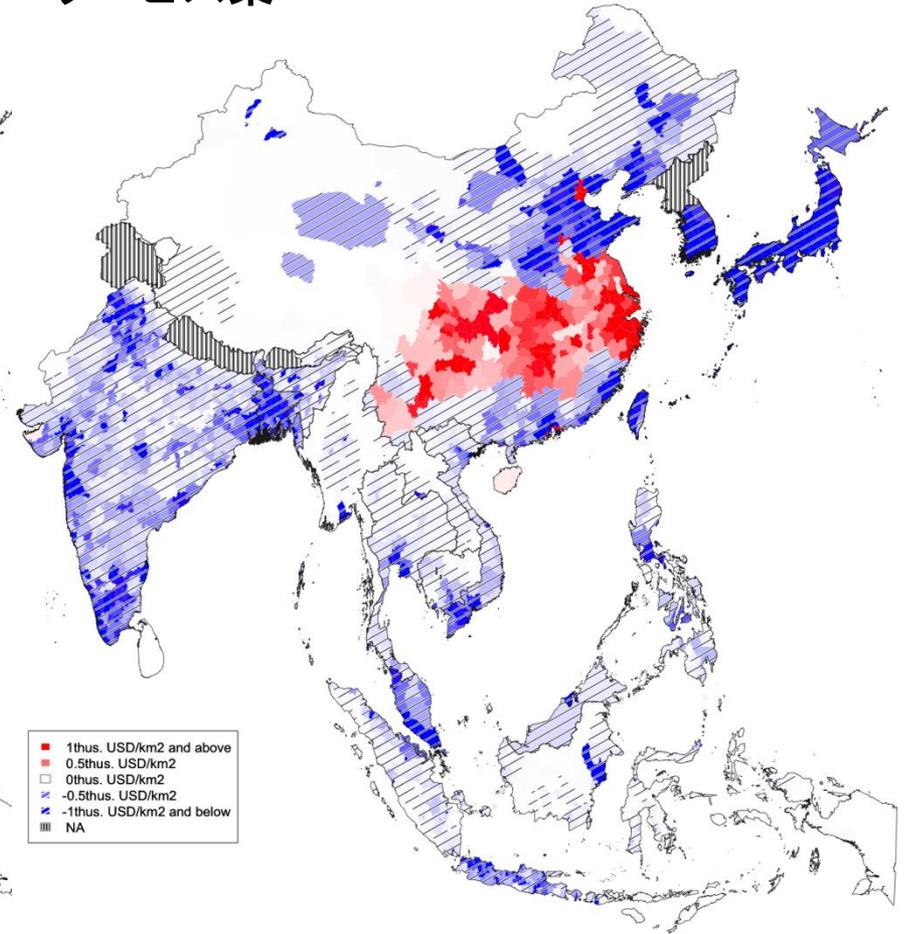
青い地域：マイナスの効果。赤い地域との価格競争にて不利になり、顧客を失い、人々や企業が流出する

産業別の影響

電気電子産業



サービス業



出典: IDE-GSMシミュレーション分析

国別の影響

国別の影響

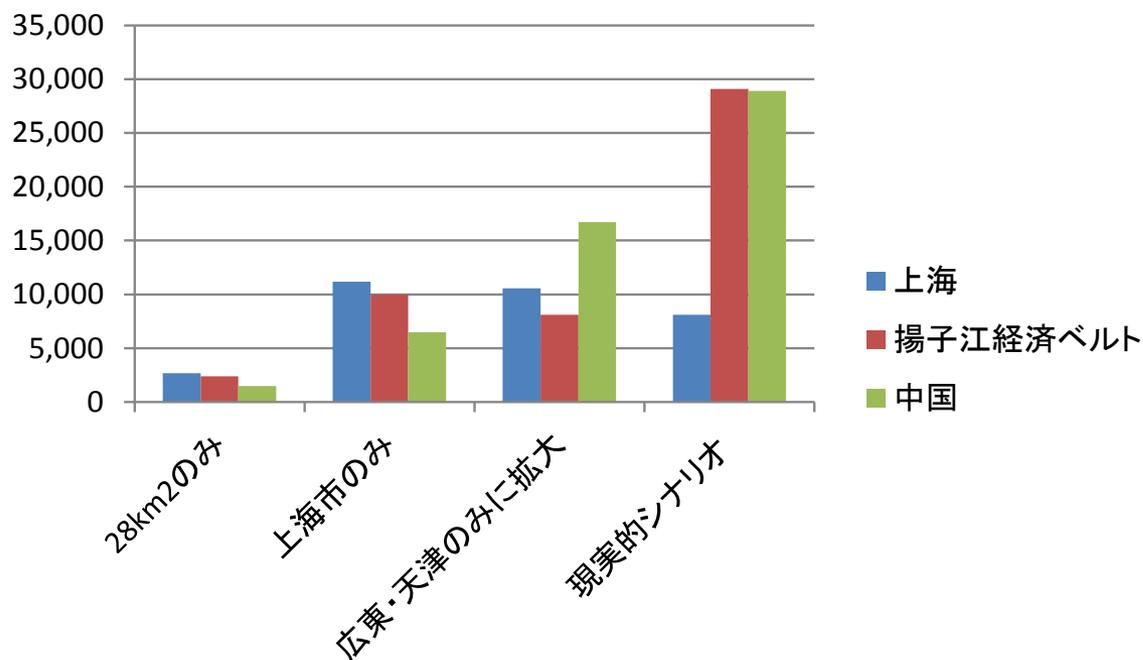
国	GDP
中国China	0.11%
ブルネイ	-0.03%
カンボジア	0.06%
インドネシア	-0.01%
日本	-0.02%
韓国	-0.03%
ラオス	0.02%
マレーシア	-0.02%
ミャンマー	0.01%
フィリピン	0.00%
シンガポール	-0.03%
タイ	-0.01%
ベトナム	-0.02%

中国は0.11%の経済効果。サービス業の比率の少ない、カンボジア、ラオス、ミャンマーはプラス。その他の国は多くがマイナス。

出典：IDE-GSMシミュレーション分析

別の仮定でのシナリオ

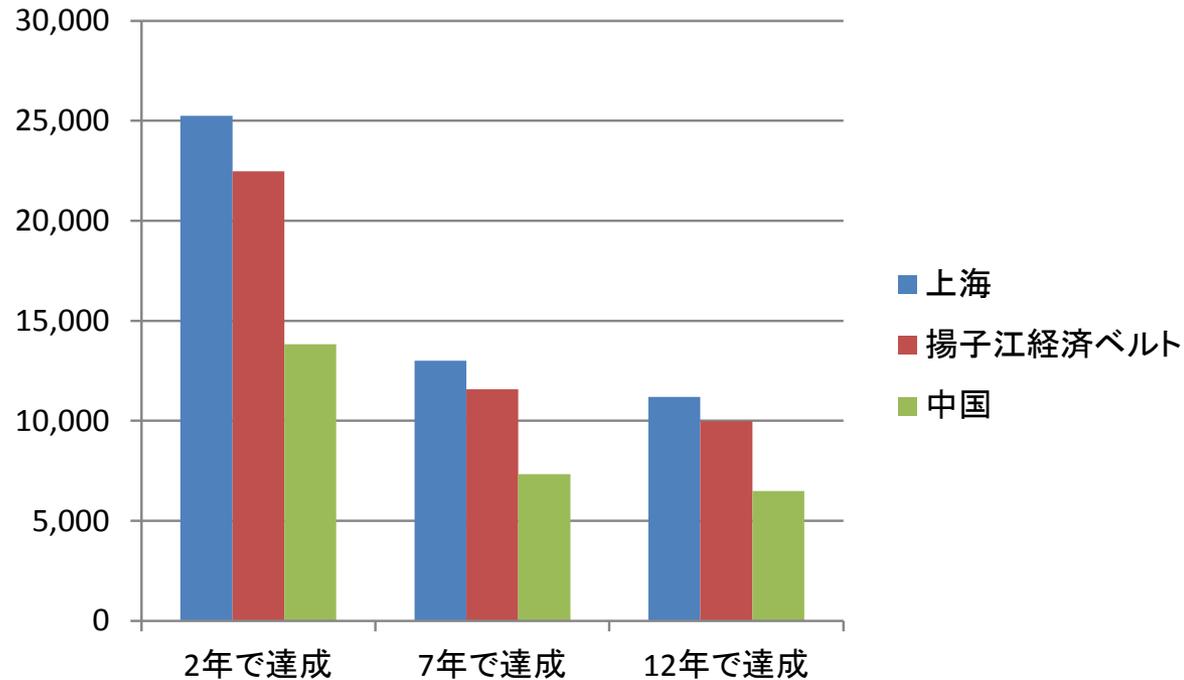
別の仮定でのシナリオ(1)地域の拡大
(実質GDP、100万ドル)



出典：IDE-GSMシミュレーション分析

- もし地域の拡大がなされず、28km²のみだと仮定すると経済効果は現実的シナリオの1/20に。

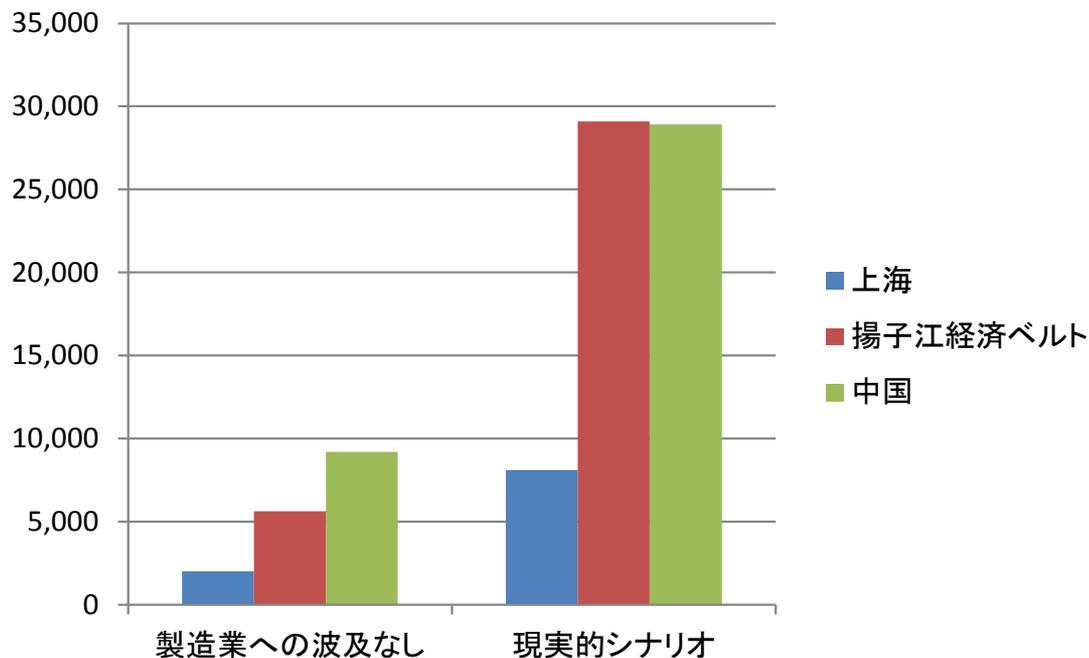
別の仮定でのシナリオ(2)障壁削減スピード
(上海市のみのシナリオ)
(実質GDP、100万ドル)



出典：IDE-GSMシミュレーション分析

- 2年で障壁削減を達成すると経済効果は約2倍に。

別の仮定でのシナリオ(3) 製造業への波及 (実質GDP、100万ドル)



出典：IDE-GSMシミュレーション分析

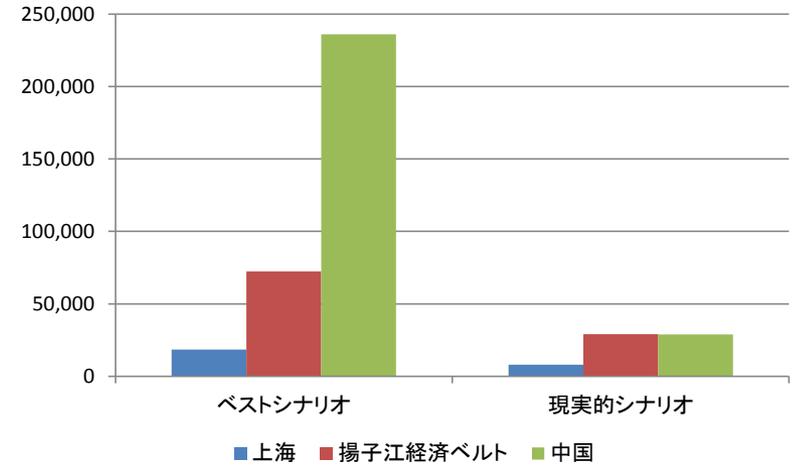
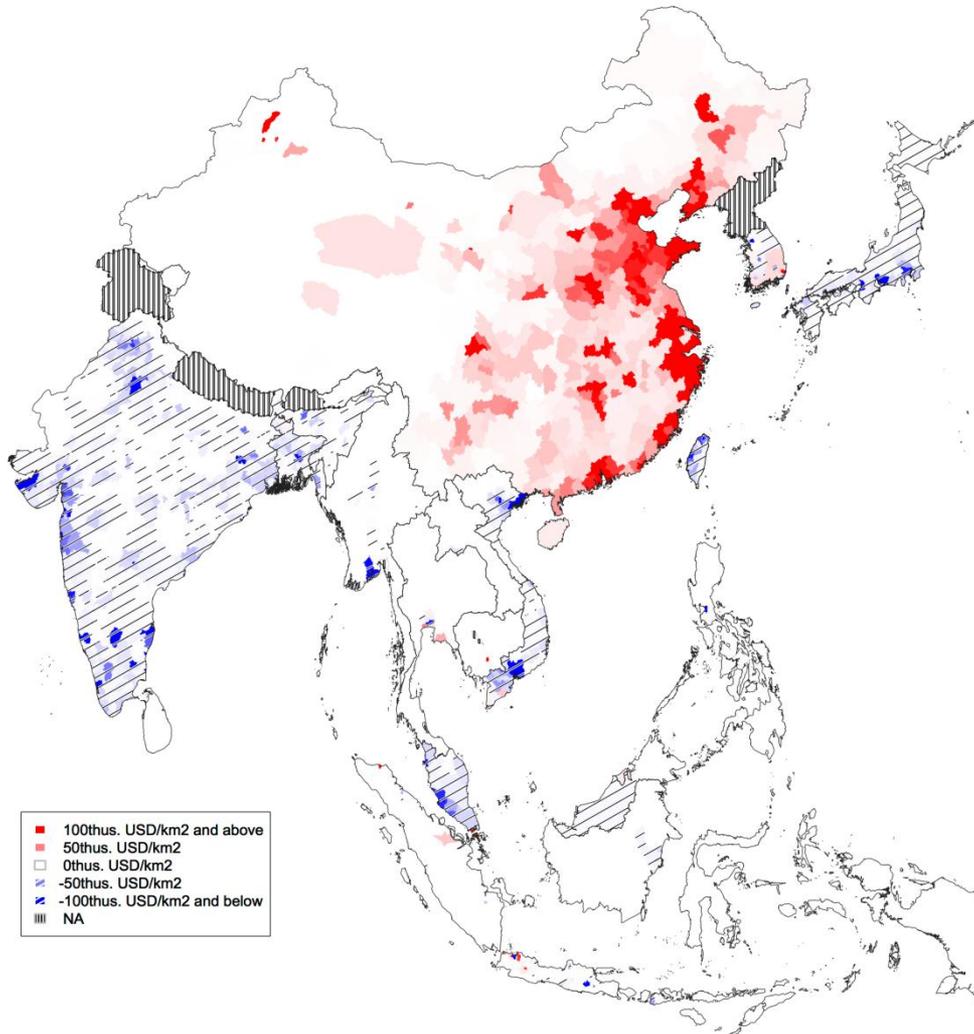
- サービス障壁の削減がなんら製造業の障壁削減に寄与しないとした仮想的なシナリオでは、現実的シナリオの31.7%の経済効果にとどまる。サービス業は4.15倍の経済効果を得る一方、製造業は伸び悩み、経済効果は1/20になる。

ベストシナリオ

ベストシナリオ	現実的シナリオ
上海市全体 2014－2025年にかけて、香港と同じレベルまでサービスと製造業の障壁を削減	上海市全体 2014－2025年にかけて、香港との差の半分だけサービスと製造業の障壁を削減
広東と天津 2016－2025年にかけて香港と同じレベルまでサービスと製造業の障壁を削減	広東と天津 2016－2025年にかけて、香港との差の半分だけサービスと製造業の障壁を削減
揚子江経済ベルト 2021－2025年にかけて、香港と同じレベルまでサービスと製造業の障壁を削減	揚子江経済ベルト 2021－2025年にかけて、香港との差の半分だけサービスと製造業の障壁を削減
その他地域 2021－2025年にかけて、香港と同じレベルまでサービスと製造業の障壁を削減	その他地域 変化なし

結果

(実質GDP、100万ドル)



- 経済効果は中国全土に拡大し、現実的シナリオの8.16倍に

出典：IDE-GSMシミュレーション分析

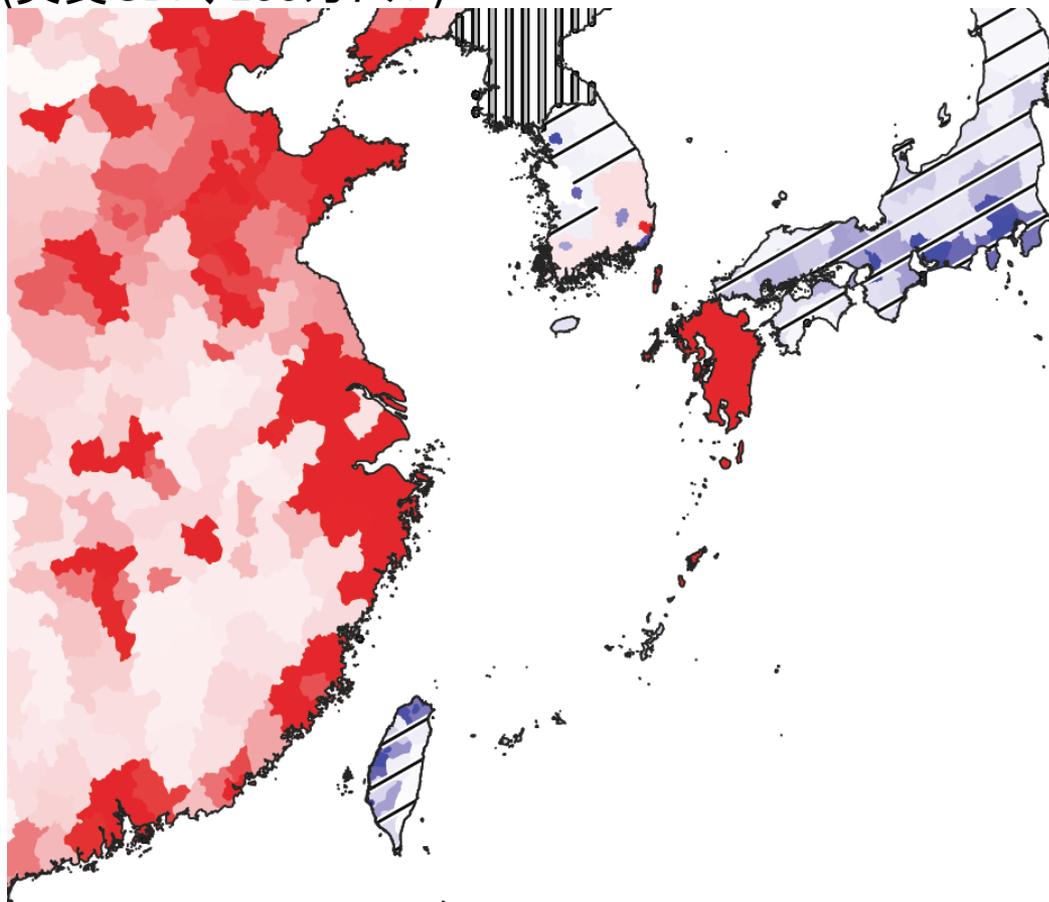
結論

- 規制撤廃を通じた物品貿易の活性化が期待されるような、金融、ロジスティクス、専門家サービス等の自由化が重要である。
- サービス障壁削減の期間が短ければ短いほど、経済効果が大きくなる。よって、改革は長期にわたって実施するよりも、短期間に行ったほうがよい。
- 障壁削減を一部の地域に限定すると、中国国内の他地域において貿易転換効果が生じ、ネガティブな影響を受ける。中国全体で改革を実施するほうがよい。
 - 日本、韓国、ASEAN諸国などの周辺諸国は、サービス障壁削減を進めることが求められる。

長崎や九州への提言

- 短期的には長崎や九州の企業が上海に進出がしやすくなるメリット
- 中長期的には、長崎や九州も手続きの簡素化などでサービス業や投資の障壁を削減し、競争力を強化する必要性がある

ベストシナリオ & 九州各県も障壁を削減
(実質GDP、100万ドル)



出典：IDE-GSMシミュレーション分析